

取扱説明書/保証書



# pocket tools

## colourizer



**AER** The Acoustic People®

## ご使用に際して

本製品をご使用になられる前に必ず取扱説明書をよくお読み下さい。以下の警告及び注意事項には必ず従って下さい。又、本取扱説明書は大切に保管して下さい。

	<p><b>警告</b> 以下の記載事項に反して誤った取扱いをすると、人体に重大な影響(死亡、重傷等)が発生する可能性があります。誤った取扱いは、火災・感電の原因となりますので、くれぐれも行わないで下さい。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●本製品はAC100V専用です。それ以外の電源では使用しないで下さい。</li> <li>●電源コードの取扱いには十分ご注意ください。重い物を載せたり、無理な負荷をかけたり、引っ張ったりしないで下さい。</li> <li>●本製品を可燃物又は、暖房機器等の熱源の近くでは使用しないで下さい。</li> <li>●本製品を濡らしたり、水をかけたりしないで下さい。又、雨・霧・雪等が発生している場合、海辺、水辺等でのご使用には特に注意が必要です。</li> <li>●本製品の上に、水の入った容器、花瓶、飲料、薬品等や小さな金属類を置かないで下さい。これらが内部に入りますと大変危険です。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●本製品をご使用の際は、必ず付属の電源コードをお使い下さい。それ以外のものをお使いになりますと、重大な事故が発生する場合がございます。</li> <li>●煙が出たり、変な臭いや異音がある等の異常がある場合、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて下さい。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●本製品を分解したり、改造しないで下さい。</li> <li>●AER正規代理店である弊社以外で修理・交換をされますと1年間の保証が無効となります。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●本製品の使用中に何らかの異常が発生した場合はすぐに使用を中止して下さい。その際には電源スイッチを切り電源プラグをコンセントから抜いて下さい。その後、お買い上げになられた販売店へご相談下さい。</li> </ul>
	<p><b>注意</b> 以下の記載事項に反して誤った取扱いをすると、人体及び器物に重大な影響(傷害、器物破損等)が発生する可能性があります。誤った取扱いは、火災・感電・製品破損の原因となりますので、くれぐれも行わないで下さい。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●本製品を設置する際には、以下のような場所には置かないで下さい。             <ul style="list-style-type: none"> <li>・本体の落下する恐れのある不安定な場所</li> <li>・湿気やほこりの多い場所</li> <li>・気温が極端に低く、又は高くなる場所</li> <li>・通気性の悪い場所</li> </ul> </li> <li>●本製品の接続ケーブルが人の通り道や物の下に置かれないうようにご注意ください。</li> <li>●本製品を強い電力を持つトランスフォーマー、発電機、ライト等の機器の近くに置かないで下さい。</li> <li>●本製品の通気の為に、機体の周りに充分な空間を確保して下さい。</li> <li>●本製品をスタンドに取付けて使用される場合、その取扱には十分ご注意ください。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●プラグを差し込む前に、本製品の電源がOFFになっていることを確認して下さい。</li> <li>●本製品に、オーディオ機器・楽器等を接続された後に全てが正しく接続されている事をご確認下さい。</li> <li>●電源スイッチを入れる前に、本製品のボリュームが最小になっている事をご確認下さい。</li> <li>●アースに関しては可能であれば接続することをお奨めします。</li> <li>●本製品のお手入れをされる際は、全てのプラグを抜いてから行って下さい。アルコール、化学薬品等は使用せず、水気が本製品の中に入らないよう注意し、乾いた布等でお手入れをして下さい。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●電源が入っている状態で、接続機器を抜き差ししないで下さい。機体破損の原因となります。</li> <li>●落雷の際、又は長時間ご使用にならない場合は、電源プラグをコンセントから抜いて下さい。</li> <li>●電源プラグを抜く際は、電源コードを引っ張らずに、必ずプラグ部分を持って行って下さい。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●音が至んでいる状態で使い続けた場合、機体が破損したり異常に高温になる事がございますのでご注意ください。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●本製品の使用中に何らかの異常が発生した場合はすぐに使用を中止して下さい。その際には電源スイッチを切り電源コードをコンセントから抜いて下さい。その後、お買い上げになられた販売店へご相談下さい。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●廃棄する際には必ず地域の条例に従って下さい。</li> </ul>



楽器、またはマイクロフォン（ボーカルや楽器収録）に対応したプリアンプ兼DIで、ソースとアンプやPAの間に接続することによって、リッチでよりすばらしいサウンドを得られます。

その秘密は以下の3種類の“サウンドシェイプ”機能です。

- トーンバランス：この機種独自の機能で、高音域と低音域のバランスを取ることで元のサウンドを活かしながらEQとは違った音づくりを行います。
- エンハンサー：高調波を加えることで、サウンドの明瞭さを増します。
- イコライザー：柔軟性の高い、パラメトリックタイプです。

### 接続端子

#### ◆ input

XLRと標準ジャックのコンビタイプ。XLRで接続した際は入力設定がmicモードになり、低い入力レベルに対応します。標準フォーン（TRS）で接続した際は入力設定がlineモードなり、楽器（エレクトロアコースティックギターなど）を接続します。

micモードの場合はファンタム電源を供給可能（line out 脇のphantom powerスイッチでオンにします）。ファンタム電源を受け付けない機器もあるので使用には注意してください。その機器を壊してしまう場合があります。

#### ◆ bypass

モノラル標準フォーンジャックでフットスイッチを接続します（ラッチタイプがよいでしょう）。ミュートとして動作し、lineモード時のみ対応します。ギターの繋ぎ替えのときに便利です。

#### ◆ line out

モノラル標準フォーンジャック。アンプやラインミキサーなどに接続します。volumeノブで出力レベルを調節します。

#### ◆ DI out

XLRタイプ（2番ホット）。一般的にはPAミキサーに接続します。DI levelツマミで出力レベルを調節します。

#### ◆ dc 24V

付属している24VDCパワーサプライを接続します。接続すると電源が入ります。

### コントロール

#### ◆ gain

入力レベルを調節します。clipランプが赤く点灯しないように調節してください。

#### ◆ Attn. off/on

入力レベルのアッテネーションです。gainノブを調整しても過大入力になる場合はオンにするとういでしょう。

#### ◆ DI level

DI outの出力レベルを調節します。

#### ◆ volume

line outの出力レベルを調節します。

#### ◆ phase

出力信号の位相を入力信号に対して反転（180°）させることができます。

## ◆ tone セクション

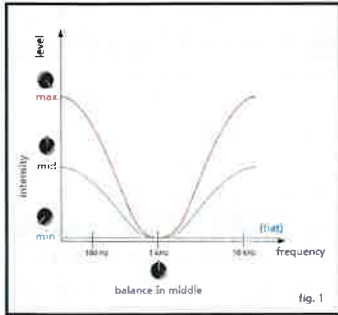
tone セクションでは 1kHz を中心として高音域と低音域それぞれに音量を上げます (シェルビング EQ の効果に近い効果)。

### ◇ balance

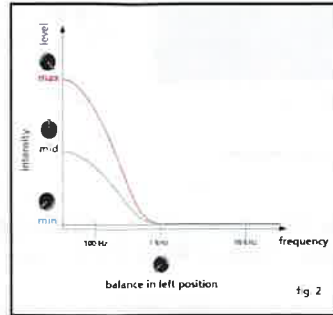
ノブがセンターの場合、高音域と低音域の音量が一緒に上がります。左に回しきった状態では低音域のみ、右に回しきった状態では高音域のみ効果が表れます。ソースに応じて調整してください。イコライザーと異なった効果が得られます。以下の図を参照してください。

### ◇ intensity

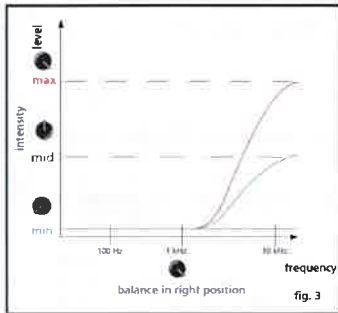
tone セクションでの効果の量を調整します。左に回しきった状態では効果はありません。



Balance ノブが中央の場合



Balance ノブを左に回し切った場合



Balance ノブを右に回し切った場合

## ◆ enhancer セクション

enhancer セクションでは高調波を付加して、サウンドきらびやかにしたりクリアにしたりします。

### ◇ intensity

エンハンス効果を調節します。

### ◇ off/on

エンハンス効果のオン/オフをします。

## ◆ equalizer セクション

equalizer セクションにはパラメトリック EQ を搭載しています。

### ◇ level

特定の周波数帯域をブーストまたはカットします。センター周波数で  $\pm 15\text{dB}$  の範囲です。

### ◇ bandwidth

イコライザー効果がかかる幅を設定します。左に回しきった状態で最低値 (1/6 オクターブ)、右に回しきった状態で最高値 (1 オクターブ) ですが、リニアカーブではありません。

### ◇ frequency

f1 または f2 の範囲に於けるセンター周波数を設定します。左に回しきった状態で最低値、右に回しきった状態で最高値ですが、リニアカーブではありません (表を参照してください)。

### ◇ f1/f2

センター周波数の可変範囲を設定します。使用する楽器やソースに応じて使い分けてください。

f1 = 90Hz - 1.6kHz, f2 = 680Hz - 11kHz。

※パラメトリック EQ はフィードバック (ハウリング) を抑える目的で使用するのも効果的です。level を最小、bandwidth を最大にした状態から frequency ノブを使ってフィードバックポイントを探します。その後、bandwidth を小さくしたり、level を少し上げたりしながら本来の音への影響を最小にしていきます。

frequency ノブの位置	(300° の可変範囲)	f1	f2
左に回し切った状態	0%	55 Hz	600 Hz
	50%	100 Hz	1.3 kHz
	75%	180 Hz	2.3 kHz
	87.5%	300 Hz	3.7 kHz
	93%	455 Hz	5.6 kHz
右に回し切った状態	100%	870 Hz	11 kHz

bandwidth ノブの位置	(300° の可変範囲)	オクターブ
左に回し切った状態	0%	1/6
	12.5%	1/3
	25%	1/2
	50%	2/3
右に回し切った状態	100%	1

## スペック

S/N 比 (最大ゲイン時) : Line 103dB、Mic 90dB  
THD+N : Line < 0.1%、Mic < 0.1%  
入力インピーダンス : Line 2.2M $\Omega$ 、Mic 1.2k $\Omega$   
電源 : 24VDC パワーサプライ付属 (消費電力 : 4W)  
外形寸法 : 65 x 105 x 135mm (HxWxD)  
重量 : 480g

## ブロック図

